

スカイウェイブ

固定網からホットスポットまで SIP ベースの VoIP 環境を構築

VoIP 関連の各種製品開発・販売を手がけるスカイウェイブが、次世代の VoIP ソリューション「BroadVoice」(ブロードボイス)を積極展開している。通信キャリア/ISP に対して「SIP」対応のプロダクト・運用支援をトータルに提供するものだ。端末側の製品戦略では、固定網だけでなく無線 LAN 環境にもいち早く着手し、PDA 版ソフトフォン「SkyPhone for PDA」の SIP 対応にも成功している。

スカイウェイブは、VoIP サービスを展開する通信キャリアや ISP に対してネットワーク側の設備として課金・トラフィック管理やゲートウエーなどのシステム提供および運用に関するアウトソーシング事業を展開してきた。また、エンドユーザー側に設置する VoIP 端末(ソフトフォン)やアダプター機器の OEM 供給も行っている。

「BroadVoice」は、こうした従来からのビジネスを、新しい VoIP プロトコルである SIP(Session Initiation Protocol)の上で実現しようというもの。具体的には、同社が提供するすべてのプロダクトを SIP に対応させ、さらに、通信したい相手の状態が分かるプレゼンス機能、PC や PDA 画面のアイコンをクリックするだけで通話ができる Push To Talk 機能、瞬時に IP 電話会議の設定ができるインスタントカンファレンス機能などの付加価値も提供していく。

スカイウェイブ・代表取締役社長の今村行秀氏は、BroadVoice 事業を立ち上げた背景について次のように説明する。「ADSL をはじめとしたブロードバンドの整備が進んだこと、総務省が IP 電話への番号付与など行政施策を推し進めたこと、さらに、SIP によって VoIP ネットワークの相互接続が容易になったことで、ISP などが VoIP をサービスとして提供

しやすい環境になり、この機会をいち早く捉えて、事業拡大を図ろうと考えました。」

PDA フォンで音声会議も

スカイウェイブでは、すでに WindowsPC 対応のソフトフォン「SkyPhone for PC」の SIP 対応を完了し、通信キャリアなどへの供給を開始している。

そして、今年4月に開発した PDA 版ソフトフォン「SkyPhone for PDA」についても、5月24日に SIP 対応に成功したことをアナウンスした。

SkyPhone for PDA は、モバイル端末向け OS の PocketPC2002 上で稼働するソフトウェアで、IEEE802.11a/b 等の無線 LAN 環境において VoIP 通信を実現する。音声コーデックには非圧縮(64kbps)の ITU-T G.711 を採用し、通話品質の面でも高いレベルを確保している。この製品により、企業内の無線 LAN はもとより、話題となっているホットスポットにも SIP 環境が大きく広がることになる。

同社では8月までに版をリリース、9月には正式発売する計画。現在、プロトコルスタックの最終調整とともに、他の SIP 製品との相互接続試験を進めており、自社の SkyPhone for PC やヤマハが提供



スカイウェイブの今村行秀社長



スカイウェイブの柿原亘営業部長

する VoIP-TA「RTA54i」の最新ファームウェア等との検証を完了している。

SkyPhone for PDA の販売については、PDA メーカーや SI、通信キャリア/ISP などにターゲットを定め、PDA 製品へのバンドル、企業向けの個別案件で端末にインストール、ホットスポット事業者などへの OEM 供給といった形での製品供給を提案していく。同社・営業部長の柿原亘氏によれば、「すでに営業活動をスタートさせているが、反応は非常に良く、企業向けの案件ではいくつかの引き合いが来ている」という。今後はホットスポット事業者と連携してフィールドでの実証実験も進め、コンシューマー層への流通も加速させる考えだ。

同社では、SkyPhone for PDA の展開と合わせた BroadVoice の付加価値として、ボイスカンファレンスにも焦点を当てており、具体的な製品として最大120人まで音声会議に参加可能なアプリケーションソフト「SkyConference」の提供、そして SIP 対応に向けた開発を着々と進めている。今回の WIRELESS JAPAN2002 では、SkyPhone for PDA による SIP の音声通話に加え、その PDA 端末を使ったボイスカンファレンスのデモも行う予定だ。

コア事業は SIP 通信の制御

さて、スカイウェイブでは VoIP 端末・アプリケーションと併行して、通信キャリア/ISP 向けのプラットフォーム製品についても SIP 対応版の準備を進めている。ルーティング、認証、顧客管理、課金等の機能を提供するトータルシステム「NetManager」を機能

アップした「Octopus」を、2002年度上期中にも開発を完了する予定だ。

加えて、同社は、SIP 技術のリーディングカンパニーとして SIP プロキシ製品などを手がける米 dynamicsoft 社のパートナーとして、国内市場における販売窓口も務めている。また、VoIP アプリケーション

の提供に有用なメディアサーバー製品に関しても、米 Snowshore Networks 社と事業提携を結んでおり、両社の製品も含めて、通信キャリア/ISP の SIP ネットワーク構築をトータルに支援する体制を整えている。

さらに、ソリューションメニューの拡充策として、比較的小規模な ISP 向けに dynamicsoft 社の製品をベースとした Small Package「SkyProxy」と、カンファレンスサーバー、MCU(マルチポイントコントロールユニット)と DB を1つのハード



SIP 対応に成功した「SkyPhone for PDA」

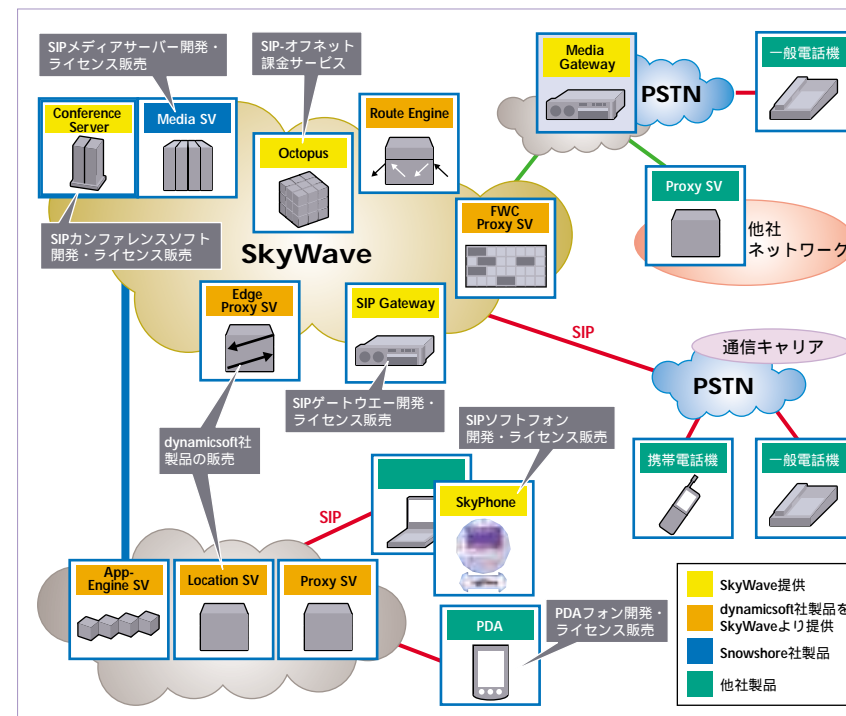
ウェアにインストールした Small Package を8月に出荷予定だ。

「当社のビジネスは、ネットワーク上のトラフィックを制御することで収益を得るといのが根幹にあります。が、トラフィックを増やすためには“入り口”となる端末を普及させなければなりません。そこで、SIP という新しい世界でのビジネスをいち早く立ち上げるため、SIP 対応端末の整備を先行して進めました。固定網だけでなくモバイル環境でも入り口の準備ができたことで、当社の本当のビジネスも加速していくと期待しています」と、今村社長は語っている。

スカイウェイブでは、通信キャリア/ISP の IP 電話サービスが本格化するであろうこの2002年を起点に、2005年には VoIP を主体とした新しい音声通信の時代になると見通す。そうしたシナリオの中で、SIP 対応にいち早く動いたイニシアチブを發揮し、市場の拡大に貢献したい意向だ。

お問い合わせ先

スカイウェイブ株式会社
VoIP ソリューション事業部
TEL : 03-3353-5577
FAX : 03-3353-5578
E-Mail : sales@skywave.ne.jp
URL : http://www.skywave.ne.jp



スカイウェイブが展開する「BroadVoice」の事業内容